

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

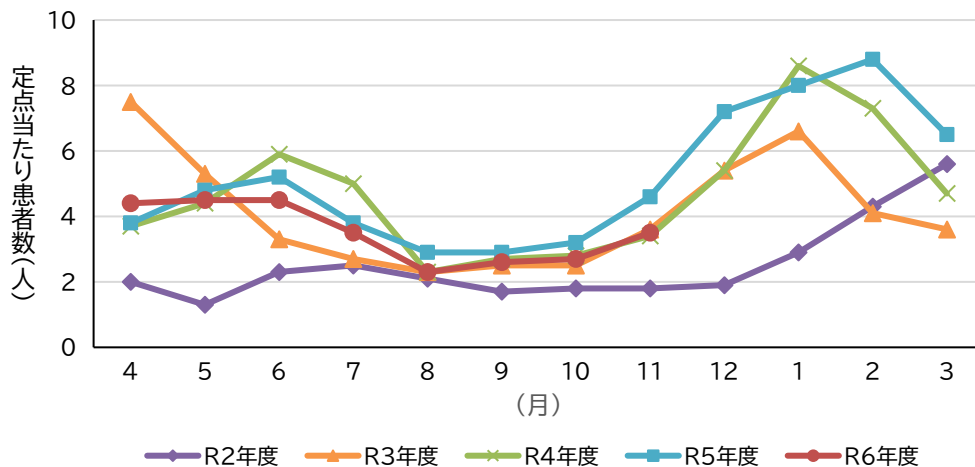
(令和6年12月解析分)

1 今月のトピックス

■ 感染性胃腸炎が増加しています！！

- 感染性胃腸炎の県内の発生状況について、小児科定点医療機関（県内73施設）からの報告患者数が増加しています。
- 感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状を引き起こす感染症で、ノロウイルスやロタウイルスによるものが冬場に流行しやすく、この時期は特に注意が必要です。
- 令和2年度のこの時期の報告患者数は、例年に比べて低く推移していましたが、令和3年度以降は例年通り11月頃から患者数が増加しています。

広島県における定点医療機関当たりの報告患者数(過去5年)



- ノロウイルスは、アルコールに対する抵抗力が強く、アルコール消毒は効きにくいとされており、予防のポイントは、トイレの後や調理・食事の前の、石けんと流水による十分な手洗いです。
- 新型コロナウイルスの感染対策により、アルコール消毒が定着したことで、石けんと流水による手洗いがおろそかになっているとの指摘もあり、改めて、感染対策の基本である「手洗いを十分に行う」を徹底しましょう。

《消毒・除菌方法一覧》

	手 指			モ ノ		
	アルコール消毒	石けんと流水による洗浄	塩素系漂白剤	アルコール消毒	石けんと流水による洗浄	塩素系漂白剤
ノロウイルス ロタウイルス	×	○	×	×	○	○
新型コロナウイルス インフルエンザウイルス	○	○	×	○	○	○



※ それぞれ所定の濃度などがあります。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和6年11月分(令和6年11月4日～令和6年12月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,483	3.19	5.91	↑	11	ヘルパンギーナ	21	0.07	0.26	↘
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	702	1.51		→	12	流行性耳下腺炎	8	0.03	0.05	↘
3	RSウイルス感染症	60	0.20	0.29	→	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	咽頭結膜熱	120	0.41	0.89	↗	14	流行性角結膜炎	52	0.68	0.54	↗
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	534	1.82	1.27	→	15	細菌性髄膜炎	3	0.04	0.00	
6	感染性胃腸炎	1,030	3.52	3.54	↗	16	無菌性髄膜炎	3	0.04	0.01	
7	水痘	54	0.18	0.12	↗	17	マイコプラズマ肺炎	297	3.71	0.04	↗
8	手足口病	322	1.10	0.68	↓	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	7	0.02	0.09		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	
10	突発性発しん	65	0.22	0.26	→	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和6年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	41	1.78	3.23	↘	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	74	3.52	3.38	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	14	0.61	1.12	↘	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	0.14	0.14	
22	尖圭コンジローマ	18	0.78	0.77	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
23	淋菌感染症	13	0.57	1.21	↘	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)	急増減	↑	↓	1:2以上の増減
○急増疾患 インフルエンザ (0.46 → 3.19)	増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
○急減疾患 手足口病 (2.38 → 1.10)	微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
	横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患、月報対象7疾患)について、県内177の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	73	19	22	20	177

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	20	結核(20)[西部東保健所(2)、東部保健所(7)、北部保健所(1)、広島市保健所(4)、呉市保健所(3)、福山市保健所(3)]
三類	17	腸管出血性大腸菌感染症(17)[西部東保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(14)]
四類	18	E型肝炎(1)[西部保健所(1)] つつが虫病(8)[西部保健所(5)、広島市保健所(3)] レジオネラ症(5)[西部東保健所(1)、広島市保健所(2)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)] 日本紅斑熱(4)[西部保健所(1)、東部保健所(1)、呉市保健所(2)]
五類	50	アメーバ赤痢(1)[広島市保健所(1)] カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(8)[西部保健所(2)、広島市保健所(4)、呉市保健所(2)] ジアルジア症(1)[西部東保健所(1)] バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)[広島市保健所(1)] 急性脳炎(1)[北部保健所(1)] 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(4)[西部保健所(1)、北部保健所(1)、広島市保健所(1)、福山市保健所(1)] 侵襲性インフルエンザ菌感染症(3)[西部保健所(1)、広島市保健所(2)] 侵襲性髄膜炎菌感染症(1)[福山市保健所(1)] 侵襲性肺炎球菌感染症(3)[西部保健所(1)、広島市保健所(1)、福山市保健所(1)] 水痘(入院例)(1)[広島市保健所(1)] 梅毒(20)[西部保健所(1)、西部東保健所(2)、東部保健所(2)、広島市保健所(12)、福山市保健所(3)] 百日咳(6)[西部保健所(1)、広島市保健所(5)]

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2024年11月30日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
二類	結核	19	37	26	34	35	32	28	25	16	35	20		307
	小 計	19	37	26	34	35	32	28	25	16	35	20	0	307
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	2	0	5	9	4	15	8	8	17		75
	小 計	2	5	2	0	5	9	4	15	8	8	17	0	75
四類	E型肝炎	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1		6
	A型肝炎	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0		4
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8		8
	デング熱	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0		5
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	1	3	3	0	0	0	3	0		10
	日本紅斑熱	0	0	0	0	22	10	4	11	7	15	4		73
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	レジオネラ症	4	3	2	3	5	4	12	2	4	8	5		52
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	小 計	5	3	5	5	32	19	18	15	11	27	18	0	158
五類全数	アメーバ赤痢	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1		5
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く)	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	2	4	7	1	6	4	5	1	11	8		53
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0		0	0	1	1	1	0		3
	急性脳炎	4	1	2	0	1	1	1	0	1	0	1		12
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	2	4	6	2	5	5	1	0	2	4		38
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	2	2	1	0	2	0		8
	ジアルジア症	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1		5
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	3		7
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	0	4	1	1	4	2	1	2	2	3		24
	水痘(入院例)	0	2	1	0	1	2	1	0	0	0	1		8
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	梅毒	20	19	29	21	22	24	36	22	24	31	20		268
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	2	0	1	1	1	1	0	0	1		9
	百日咳	2	0	2	0	1	2	1	5	8	13	6		40
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	播種性クリプトコックス症	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0		4
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	小 計	43	31	52	40	34	47	56	37	39	62	50	0	491
	合 計		69	76	85	79	106	107	106	92	74	132	105	0

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

- 一類 : エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
- 二類 : 急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
- 三類 : コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
- 四類 : E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キヤサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
- 五類全数 : アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和6年11月1日～12月19日

資料作成：令和6年12月20日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
111	129	81	35	13

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
E型肝炎	E型肝炎ウイルス(遺伝子型G3)	1	1	血清	R6. 11月	50代	西部
つつが虫病疑い	つつが虫病 リケッチ NT	1	2	血液, 痂皮	R6. 12月	70代	西部
	つつが虫病 リケッチ Kawasaki型	2	4	血液, 痂皮	R6. 11月, 12月	60, 80代	西部
日本紅斑熱疑い	つつが虫病 リケッチ Kawasaki型	3	6	血液, 痂皮, 皮膚組織	R6. 11月	50～70代	西部
	日本紅斑熱 リケッチ	4	5	血液, 痂皮	R6. 11月	70代～80代	西部(広島), 東部, 呉市

3 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻疹(成人)疑い	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	咽頭	R6. 11月	42	西部(広島)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	7	7	鼻咽頭, 咽頭, 唾液	R6. 11月～12月	2～77	西部東, 東部
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	42	42	鼻咽頭, 咽頭	R6. 11月～12月	0～68	西部東, 東部, 東部(福山), 北部, 福山市
手足口病	エンテロウイルスNT	1	1	咽頭	R6. 11月	1	東部
感染性胃腸炎	パレコウイルスA1型	1	1	便	R6. 11月	0	西部東

4 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	ライノウイルス	4	4	鼻咽頭	R6. 11月	3～17	西部東
	ライノウイルス+RSウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 11月	14	西部東
	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 11月	6	西部東
下気道炎	ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R6. 11月	0, 1	西部東
	ライノウイルス+マイコプラズマ・ニューモニエ	1	1	鼻咽頭	R6. 11月	0	北部
	RSウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 12月	2	西部東
発熱	ライノウイルス+アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R6. 11月	2	北部

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

5 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和6年11月1日～12月19日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	14	ダニ類媒介感染症疑い(13), E型肝炎(1)
西部(広島)	6	ダニ類媒介感染症疑い(3), 麻疹(成人)疑い(3)
西部(呉)	0	
西部東	29	インフルエンザ(10), 新型コロナウイルス感染症(1) 感染性胃腸炎(2), 上気道炎(13), 下気道炎(3)
東部	33	ダニ類媒介感染症疑い(5), インフルエンザ(17), 新型コロナウイルス感染症(10), 手足口病(1)
東部(福山)	3	インフルエンザ(2), 下気道炎(1)
北部	32	ダニ類媒介感染症疑い(5), 急性脳炎(2), インフルエンザ(18), 下気道炎(2), 感冒(1), 発熱(1), 発疹(3)
福山市	5	ダニ類媒介感染症疑い(3), インフルエンザ(2)
呉市	7	ダニ類媒介感染症疑い(7)